

セグメント別営業概況

汎用機・特殊車両部門

機械・設備
システム

防衛・宇宙

主力事業：ターボチャージャー、エンジン、フォークリフト、特殊車両など

基本戦略

- サービス事業の拡大
- 徹底したコスト低減活動
 - 現地調達率向上
 - 生産性向上
- ソリューションビジネスの拡大
- 北米マーケットへの傾注とチャイナプラスワン戦略

今後の見通しと目標



2012年度の概況と2013年度の見通し

前年度に続き、スリムな生産体制の構築など固締まり体質の実現、サービス事業の強化、グローバル事業の強化に取り組みました。連結受注高は、停滞する欧州市場でエンジンが減少したものの、自動車生産が堅調な中国・北米向けを中心にターボチャージャーが増加したことにより、ほぼ前年度並みの3,851億円となりました。

連結売上高は、ターボチャージャーの納入増加などによって前年度を上回る3,891億円となりました。前年度に黒字化を達成した営業利益は、売上増加に伴う増益効果やコストダウン活動の進捗などにより、前年度を上回る127億円となり、黒字定着が進みました。

2013年度も、引き続き構造改革を推進することで、連結受注高4,500億円、連結売上高4,500億円、営業利益180億円を計画しています。

中長期の成長に向けた取り組み

2013年度と2014年度は「利益を大きく伸ばす2年」と位置付け、事業構造の抜本的な改革、利益率の低い収益構造からの脱却、景気変動に影響されることなく黒字化できる強靱な組織と事業構造を構築します。

ターボチャージャー事業は、世界的な環境規制を背景として、エンジンのターボ装着化が広まるなか、2016年度には販売台数1,000万台、世界シェア30%を目指しています。米国に設立中の新工場に加え、タイ・中国・欧州の拠点でも生産能力を増強し、自動車メーカーの現地調達ニーズに応じて販売拡大を目指します。また、エンジンの開発段階から参画し、開発・検証をお客様の近くでサポートする「顧客密着型モデル」で、さらなる受注拡大を図ります。

エンジン事業は、アフリカや東南アジア諸国等の新興国における電力インフラの補完や、電力送電網の整備が必要である中

▼ コンテナ型1,500kWガスエンジン発電設備「MEGANINJA」



▲ ターボチャージャー

▼ ハイブリッドフォークリフト



汎用機・特車事業本部長

前川 篤



SWOT分析表

<p>□ (ターボチャージャ) 最大市場である欧州で顧客密着モデル</p> <p>□ (エンジン) 小型～中大型の多彩なラインナップ</p> <p>□ (フォークリフト) エンジン車・電気車・屋内物流機器製品の豊富な品揃え</p> <p>□ アフリカ、ブラジル等の新興市場の拡大</p> <p>□ (ターボチャージャ) 世界的な環境・燃費規制を背景にしたエンジンのダウンサイズ+ターボ化</p> <p>□ (エンジン) 安価なシエールガスの普及による全世界的なガスエンジンの需要増</p>	<p>S 強み</p> <p>W 弱み</p> <p>O 機会</p> <p>T 脅威</p>	<p>□ 急激な景気変動への対応力</p> <p>□ 利益率の低い収益構造</p> <p>□ 為替変動の影響を受けやすい体質</p> <p>□ 欧州経済危機影響の継続</p> <p>□ 中国・インド等の新興国の景気低迷</p> <p>□ コモディティ化による製品単価の下落</p>
--	---	--

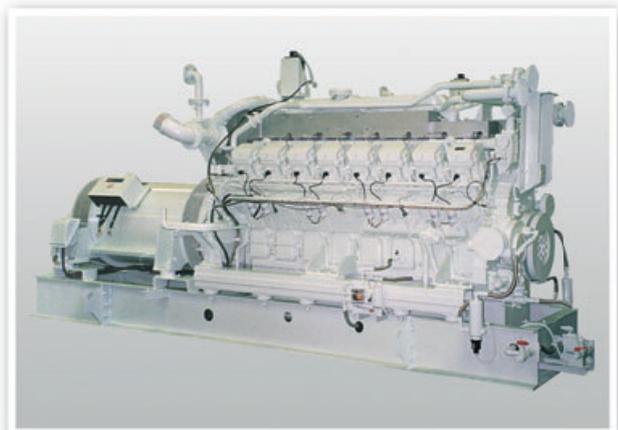
主要プロジェクト

発表時期	納入時期	プロジェクト
2013年 3月	—	三菱重工とニチユのフォークリフト事業統合会社「ニチユ三菱フォークリフト株式会社」が営業開始
2013年 3月	—	上海ディーゼルとの合併新会社が営業を開始成長著しい中国エンジン市場でシェア拡大を目指す
2012年12月	—	米国にターボチャージャの生産拠点を設立、2014年秋に量産開始
2012年 6月	—	コンテナ型の1,500kWガスエンジン発電設備「MEGANINJA」を開発

国、そして災害時のバックアップ電源としてニーズが高まっている国内において、分散型電源市場でのディーゼル・ガスエンジン発電機の需要を積極的に取り込んでいきます。そのため、上海に設立した合併会社である上海菱重発動機有限公司をはじめとした、国内外グループ会社を活用し、ソリューション型提案ビジネスにより販売拡大を図ります。

フォークリフト事業は、日本輸送機(株)と統合、2013年4月に当社連結子会社であるニチユ三菱フォークリフト(株)が発足しました。今後、商品ラインナップの充実、海外における販売ルートの共通化や最適化、効率的かつ市場ニーズに即した新製品開発、グループ全体での人員配置や設備投資の最適化等によりシナジー効果の最大化を実現します。

以上のような各事業の施策によって、当部門は2014年度に、連結受注高4,300億円、連結売上高4,300億円、営業利益260億円の達成を目指します。



▲ ミラーサイクルガスエンジンGS16R

T O P I C S

米国インディアナ州にターボチャージャの生産拠点を設立

米国インディアナ州に設立中のターボチャージャの生産拠点では、2014年秋の量産開始を目指しています。これまではガソリンエンジン車が多く、ターボチャージャへの需要が少なかった北米では、燃費規制の強化を背景に、小型ガソリンエンジン車を中心として、燃費改善に貢献するターボチャージャ搭載エンジンへのニーズが高まっています。現地生産により、品質・コスト面の競争力を高めながら納期短縮にも取り組みます。

これにより、自動車産業が盛んな米国・欧州・アジアの3極でターボチャージャの最終組み立て体制を構築します。

メリット

- 拡大する米国市場のターボチャージャ需要に対応
- 米国自動車メーカーに密着した製品供給が可能
- 世界共通ラインで同一品質を確保

